

## 天塩町における地方創生について ～衝撃に備えつつ未来へ投資～

派遣者氏名： 齊藤 啓輔

派遣元： 外務省

派遣先での役職： 副町長

派遣期間： 平成28年7月～

### 派遣市町村の課題

- 止まらぬ人口減少、高い高齢化率  
人口は1965年をピークに34.4%減少し、現在3272名。高齢化率は32.4%。
- 基幹産業の衰退  
酪農家は5戸/年減少、寒冷地のため野菜栽培は不適、漁業は加工場が不在。
- 若者の町外流出  
職がないため、若者の町外流出が止まらない。
- 公共交通網が脆弱。高齢者等の交通弱者の存在  
生活圏の稚内市(約70キロ)までの直通公共交通が不在。

### 地方版総合戦略の概要

- 将来にわたり「住民が集えるすみよいまちづくり」の実現
  - ・人口減少及び産業衰退の衝撃に今のうちから備えて、人口が下げ止まった時に、安定ないしは増加に転じられるよう、新規投資を導くことができる基盤を整備。
  - ・若者の町外流出を食い止め、子育て世代の働き方を変えて所得の向上させる基盤整備。
  - ・天塩町の子供たちには直接世界へつながる力である、英語及びITの能力をつける。

### 成果及び今後の展開

- 顕在化していなかった食材が首都圏で現金化され、所得が向上。
- 町内牧場の海外進出及び利益の町への還流につき道筋がついた。
- クラウドワークで数万円を稼ぎ出す町内女性が出てきた。
- 通院、買い物のための生活圏への足が確保され町民の利便性向上。
- 英語、ICTへの関心が高まり、Skypeでの米国との交流授業開始。
- 今後は本年度基礎を組み立てた事業をブラッシュアップし、他の自治体でも応用できる汎用性のあるモデルとして完成させる。

### 課題に対する取組状況

- 【新規投資の基盤を構築】○「眠れる食資源活用プロジェクト」
  - 首都圏、海外のスーパーシェフたちとコラボし、稼げる商品を開発する
    - ・ミシュラン掲載ラーメン店「ソラノイロ」宮崎店主とのコラボ
    - ・スーパー割烹「六雁」秋山料理長とコラボ
    - ・老舗イタリアン「エリオ・ロカンダ・イタリアーナ」エリオシェフとのコラボ
    - ・芸能人行きつけ人気ジギスカン店「カブト」とのコラボ
    - ・女の子×地方「ハピキラ・ファクトリー」とのコラボ



- 積極的な海外展開、販路の拡大

- ・タイ、シンガポール、ベトナムへの販路拡大。
- ・タイで合弁企業を設立し、現地での乳製品生産体制構築。
- ・未利用魚の流通網整備。



- 【雇用創出・所得向上・交通体系整備】

- シェアリングコミュニティ構築プロジェクト

- クラウドソーシングによる仕事創生
  - ・ランサーズと提携。
- 長距離ライドシェアによる交通網整備
  - ・notteco(ノッテコ)と提携。
- ハイクラス人材スキルのシェア
  - ・ビズリーチと提携。

- 【地方の子供達にこそ英語とICT】

- 子供たちの未来への投資

- 英語コミュニケーション能力の向上
  - ・外国人学生、バリンガル学生との交流。
  - ・電子図書館の導入(OverDrive, MediaDoと提携)。
- プログラミング教育
  - ・ソフトバンクグループ(株)のPepper 社会貢献プログラムに参加。